

## 令和7年度 学校関係者評価結果

学校関係者評価を実施した主な評価項目	地域連携、学習指導、進路指導、生活指導、生徒会活動、学校保健、魅力発信
自己評価結果について	いずれも、妥当な自己評価結果である。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の地域連携型防災訓練計画を南陽学区と協議し、実施体制を構築する。</li> <li>・学校の魅力発信（SNS・メディア・中学校連携）を強化し、出願に結びつくコンテンツを作成する。</li> <li>・デジタル格差を生まない基本スキルの徹底と、授業の魅力向上につながる活用設計をする。</li> </ul>
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の活性化とメディア露出は学校イメージの向上に有効。ただし教員負担に配慮した設計が必要。</li> <li>・欠席・遅刻はPTA・家庭と連動した対策を強化すべき。</li> <li>・総合学科の「実生活・キャリアに根差した学び」を高評価。</li> <li>・部活動は年間計画で強弱をつけ、選択時間も確保する柔軟運営が望ましい。</li> <li>・心理的安全性の確保、教員のファシリテーション力向上を提案。</li> <li>・単発ではなく長期の協働プログラムを重視。AI時代の学びと社会接続に関するバランスへの関心と協力意向。</li> <li>・ネットリンチ、薬物、詐欺・闇バイト等の予防教育の強化を要望。</li> <li>・ICTは基本スキルの徹底で格差を縮小すべき。</li> </ul>
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成 ……学校評議員5名（PTA会長を含む。）</li> <li>・評価時期……令和7年 5月 19日（月） 令和8年 2月 16日（月）</li> </ul>